

## おいしい 自然園

### 白石沢の石はなぜ白い？

— 丹沢山地の花崗岩の仲間たち —



山北町中川地区北部から加入道山・大室山の南側中腹には、白い色の岩石がよく見られます。川や沢にも白色の石が多く、白石沢と呼ばれる沢もあります。白石沢は下流で中川川、続いて河内川になり、その後、酒匂川になります。この白い石には大理石もありますが、主に花崗岩の仲間のトータル岩や石英閃緑岩です。また、閃緑岩や斑れい岩などのやや黒っぽい石もあります。これらの石はもとほはマグマで、地下数キロメートルの所でゆっくり冷えて固まり完晶質の深成岩になりました。これらの2種類の岩石は主に（輝石）、角閃石、（黒雲母）、長石、石英などの鉱物からできていて、長石や石英が多いと白っぽく、角閃石が多いと黒っぽく見えます。



最近の年代測定によれば、約600万年前に斑れい岩質マグマが、そして、約500万年前にトータル岩質マグマが丹沢山地の地下に入り込んできました。現在、花崗岩体は丹沢山地のほぼ中央部にあり、南北に約10km、東西に約25kmで露出しています。地表に現れている大部分はトータル岩で、斑れい岩は丹沢山地の西部、北部、南部に散在しています。